

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

### 1

#### 安全上の注意

(安全のために必ずお守りください。)

お取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を、次の給表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」の内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制内容」です。

### 注意

	湯・水を逆に配管しないでください。水を出そうとしても、湯が出て、やけどをするおそれがあります。
	給湯温度は最高85℃までお使いください。85℃以上でご使用になると、器具の寿命が短くなり水栓の破損で水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	水栓本体内部を分解しないでください。水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

### 2

#### 使用条件

##### 1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組合せる場合

給水圧力 | 最低必要水圧…(下表参照)  
| 最高水圧………0.75MPa

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

給湯機タイプと号数		最低必要水圧
TOTO ハイカスタム	16号	0.06
	20号	
	18号	
TOTO ハイトリコン	20号	0.05
	21号	
	24号	
TOTO ハイコラッド	18号	0.06
	20号	
	24号	
TOTO ハイアクター	約21号	0.05
	約27号	

〈設定条件〉

項目	比例制御タイプ
吐水ハンドル	全開
吐水温度	38℃
給湯配管長さ	5m
着火条件	●給湯機が着火する下限の圧力 ●水温が高い(25℃) 夏期を想定
出湯温度	60℃

※能力手動タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さい方に切替えるご着火しやすくなります。

## 2-2

- (2) 貯湯式温水器と組合せる場合  
 給水・給湯圧力 { 最低必要水圧…0.05MPa  
 最高圧力…0.75MPa }  
 (3) 給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

### 2. 給湯温度について

- 給湯に **蒸気を使用しない** てください。
- **給湯温度は85℃以下** でお使いください。
- 電気温水器で使用する時は、給湯温度を85℃以下に調節してください。  
 85℃以上でご使用になると、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財に損害を与えるおそれがあります。

### 3. 配管について

- 湯・水を **逆配管しない** てください。
- 給水ホースには㊸ラベルを、給湯ホースには㊹ラベルを貼付けています。  
 なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

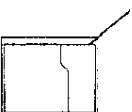
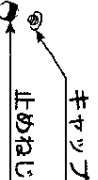




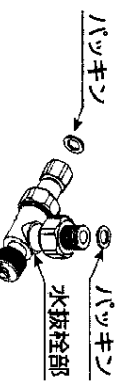
### 4. 止水栓について

- 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。

## 3

### 部品の確認

同梱部品

No.	数量	名	称
1	1冊	取扱説明書	
2	各2個	止めねじ キヤップ	
3	2個	コンタクトソケット	
4	1個	ホースクランプ (ヌバウトタイプのみ)	
5	1個	水受トレイ (インボシヤロータイプのみ)	
6	1個	ストッパー (インボシヤロータイプのみ)	
7	1セット	水抜コック (寒冷地のみ)	

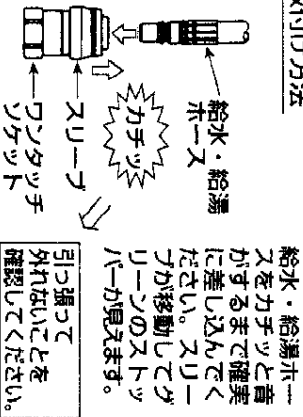
なお、本商品の固定には、呼び2.5の六角棒ヌバナが必要 です。  
 また、本商品には、水栓固定用の呼び2.5の六角棒ヌバナが同梱 されています。

# 4

## 取付け前に

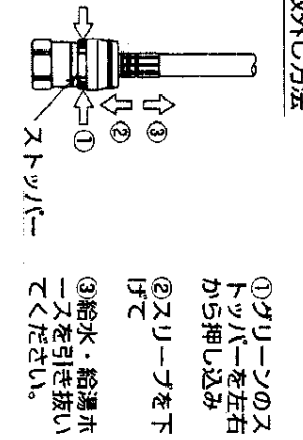
より簡単に施工していただくために、本商品はワンタッチソケットを採用しています。  
ワンタッチソケット（一般用：逆止弁付、寒冷地用：逆止弁なし）  
混合栓の給水・給湯ホースとソケットの脱着がワンタッチで可能です。

### 取付け方法



給水・給湯ホースを力チツツ音が出るまで確実に差し込んでください。スリーブが移動してスリーブのストッパーが見えます。  
引っ張って外れないことを確認してください。

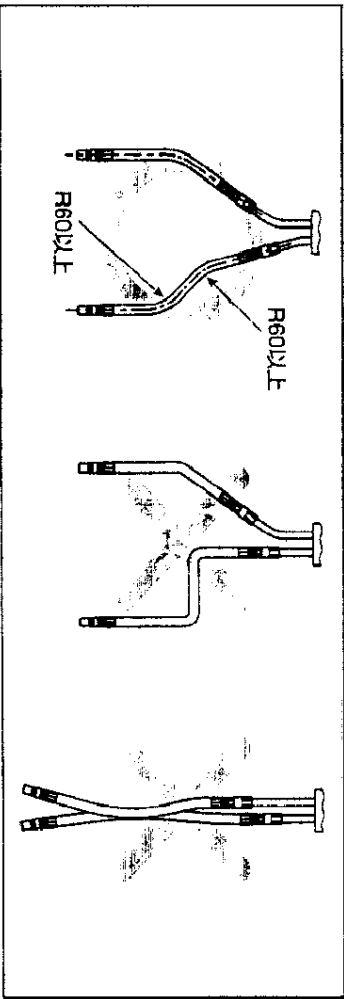
### 取外し方法



①スリーブのストッパーを左右から押し込み  
②スリーブを下げて  
③給水・給湯ホースを引抜いてください。

### 給水・給湯ホースの施工上の注意点

- (1) 給水・給湯ホースを逆に使用しないでください。
- (2) ホースの折れに、ご注意ください。  
ホースを最小曲げ半径(60mm)より小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあります。折れた部分で早期破損を生じる可能性があります。  
施工時には、最小曲げ半径(60mm)より小さく曲げないように、ご注意ください。
- (3) 金具本体端面から極端に屈曲して、施工しないでください。
- (4) ホース同士の不要な接触は避けてください。  
外部補強層の摩耗による外傷でホース性能の劣化の可能性がありますので避けてください。



### 止水栓位置の確認（下記の位置が推奨位置です。施工前に確認してください。）

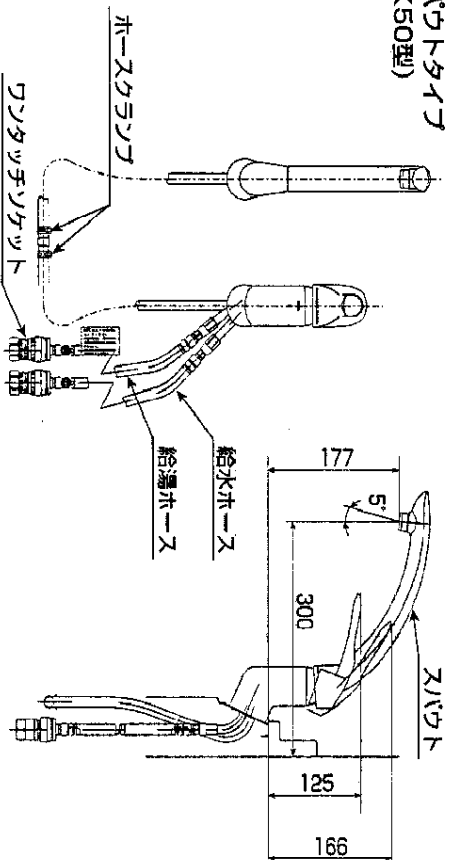
- (1) 高さ方向：床から480mm
- (2) 水平方向 給水：本体より右に270mm 給湯：本体より右に170mm

# 5

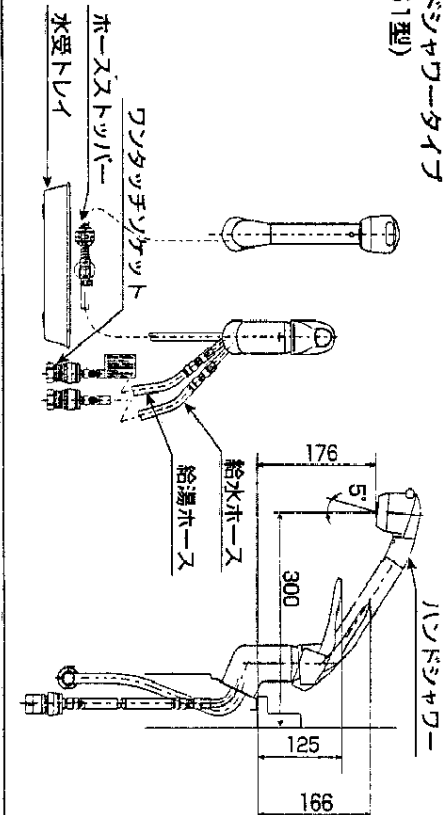
## 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

### スバウトタイプ (TK50型)

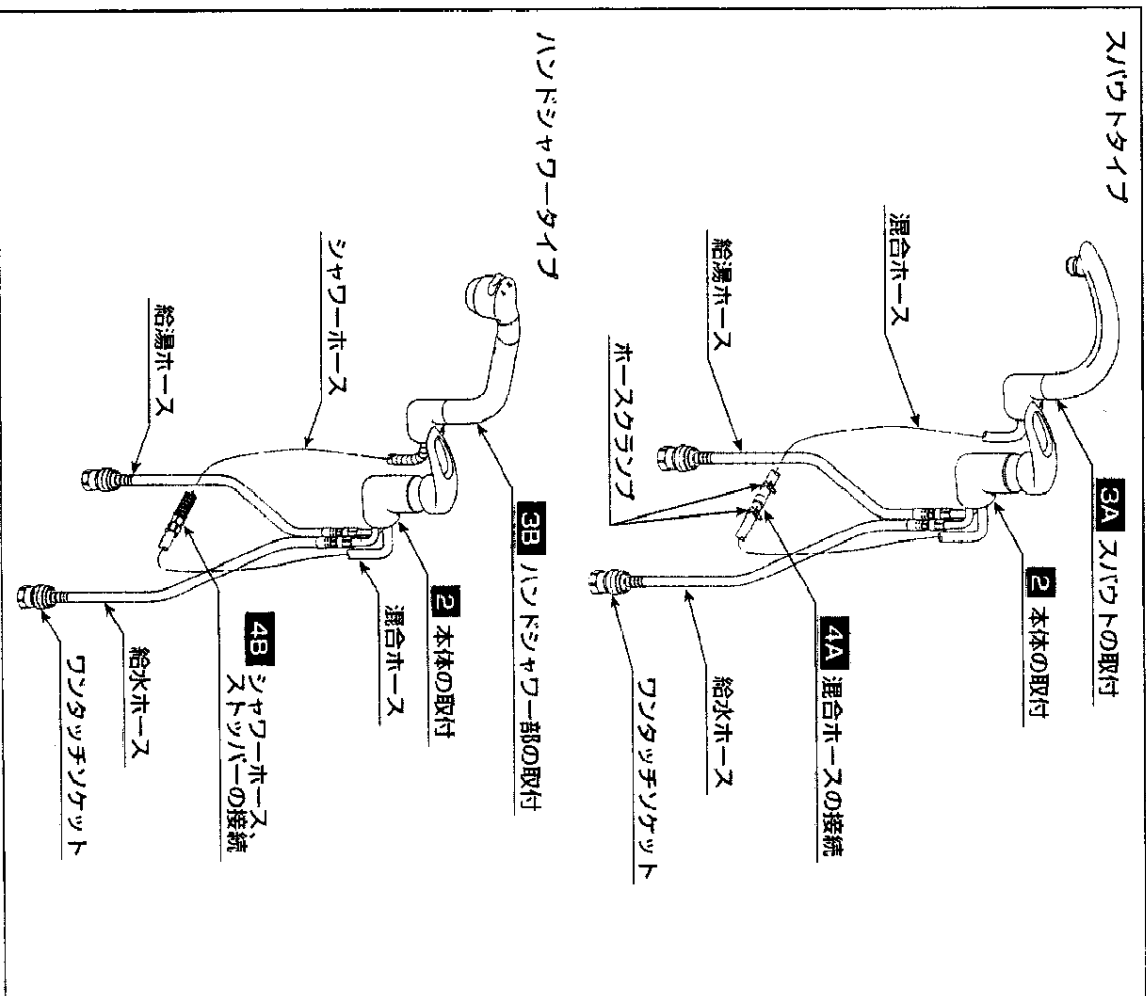


### ハンドシャワータイプ (TK51型)

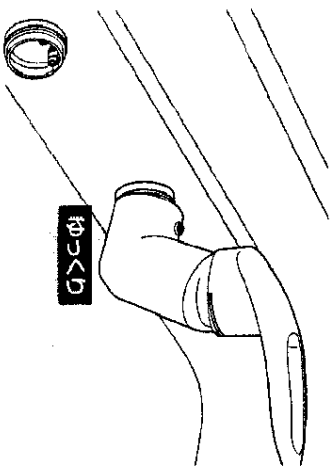


### 使用上の注意

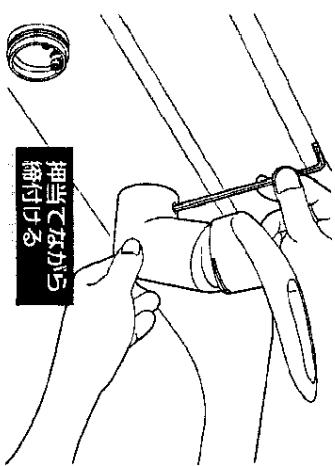
この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。  
レバーハンドルを速く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じる場合がありますが故障ではありません。  
レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。



2-5 本体が取付金具まで挿入できた  
ら、本体の根元がシソクに接するまで取  
付金具にゆっくり押しこむ。

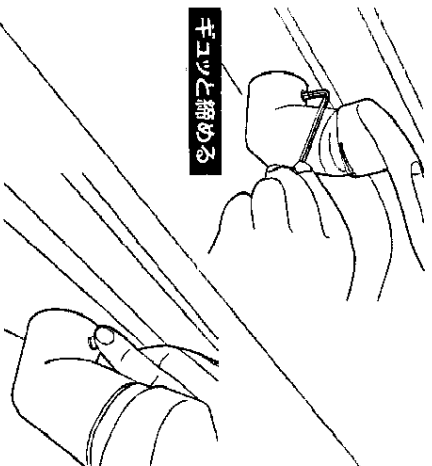


2-6 本体の向きを合わせて本体をシソ  
クに押当てたまま、六角棒又はバネの長い  
方を使って止めねじを締付ける。



入りにくい場合は、取付金具のOリング  
に水等をつけると入りやすくなりま  
す。

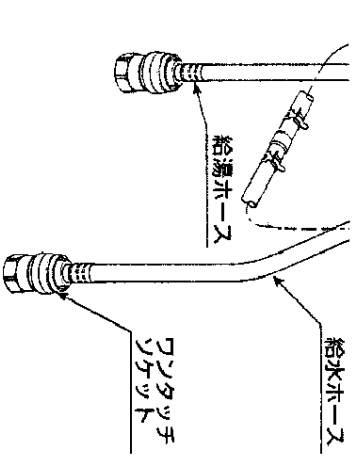
2-7 六角レンチの短い方を使って増  
締めして確実に固定する。  
その後、止めねじにキャップを押し  
込む。



本体が確実に固定され、ガタ等がないこ  
とを確認してください。

締付後、本体がまっすぐに取付けられて  
いることを確認してください。

2-8 ソンタツソケットを止水栓にね  
じ込んだ後給水、給湯ホースをソ  
ンタツソケットにカチツと音が  
出るまで挿入する。(キャビネット内  
での作業)

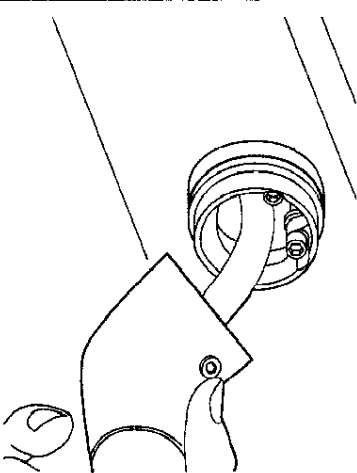


この作業は、スバウト(ハンドシャ  
ワー)取付後、実施ください。  
ソソクソケットのグリーンのア  
バネが見え、通水時濡れが  
ないことを確認してください。

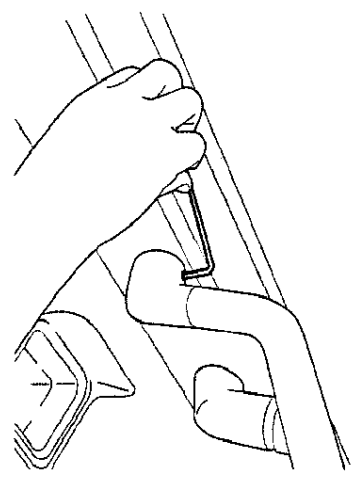
## スバウトタイプ

### 3A スバウトの取付け

3A-1 本体と同様に止めねじを仮ねじ  
こみ後、向かって左側の取付金具に挿入  
し、スバウト根元部がシソクに接するま  
で取付金具にゆっくり押しこむ。



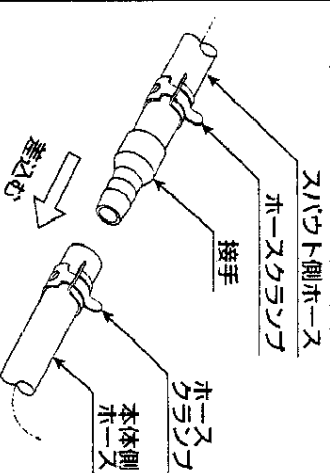
3A-2 スバウト部の向きを合わせて、  
スバウト部をシソクに押当てたまま、本  
体と同様に六角棒又はバネで止めねじを  
締付けた後、キャップを押し込む。



### 4A 混合ホースの接続 (キャビネット内での作業)

(一般地)

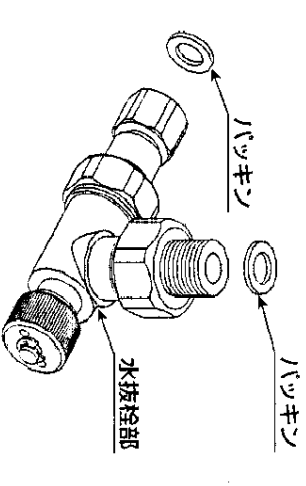
本体側混合ホースにホースクラソソクを通  
した後、スバウト側混合ホースの接手先  
端を混合ホースに押し込み、**クラソソクで固  
定**する。  
ホースは接手の根元まで押し込みください。



通水時、濡れがないことを確認してください。  
給湯、給水ホースと混合ホースがからまないように注  
意ください。

(寒冷地)

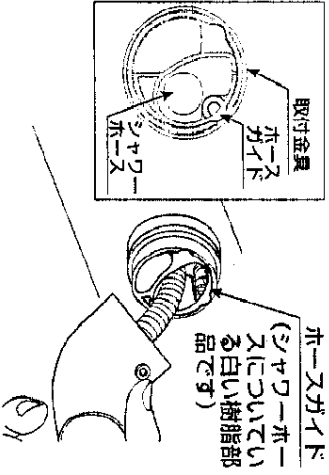
スバウト側、本体側の混合ホースの袋ナツ  
トにパッキンを入れ、水抜栓部を**工具で  
締**付ける。



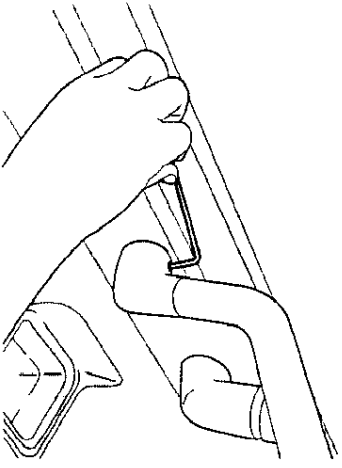
# ハンドシャワータイプ

## 3B ハンドシャワー部の取付け

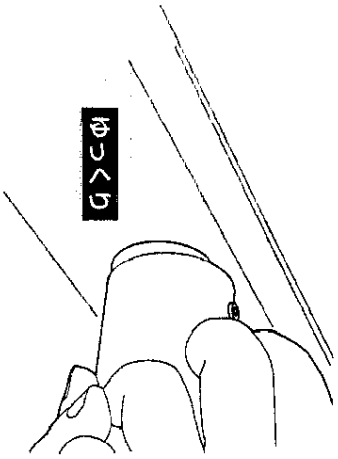
**3B-1** 本体と同様に止めねじを仮ねじこみ後、向かって左側の取付金具に挿入する。  
シャワーホースをほぼ挿入したところでホースガイドを取付金具の形状に合わせて差し込む。



**3B-3** ハンドシャワー部の向きを合わせてハンドシャワー部をシンクに押当てたまま、2-6 ~ 2-7 と同様に六角棒スパナで止めねじを締付けた後、キャップを押し込む。



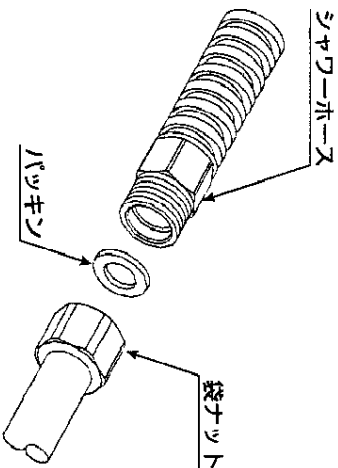
**3B-2** ハンドシャワー部を根元部がシンクに接するまで取付金具にゆっくりに押しこむ。



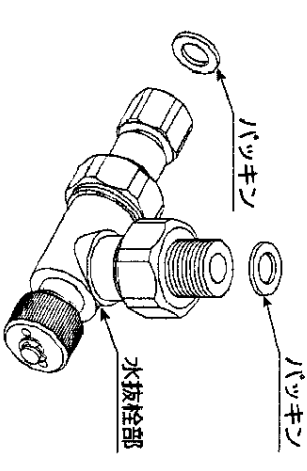
入りにくい場合は、取付金具のOリングに水等をつけると入りやすくなります。

## 4B シャワーホース、ストッパーの接続、水受けトレイの設置(キャビネット内での作業)

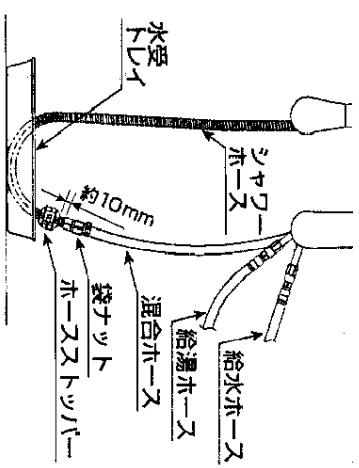
(一般地)  
**4B-1** 本体側の混合ホースの袋ナットにパッキンを入れ、シャワーホースを袋ナットで締込み接続する。



(寒冷地)  
**4B-1** スパウト側、本体側の混合ホースの袋ナットにパッキンを入れ、水抜栓部を工具で締付ける。



**4B-2** 図の位置にストッパーをつけ、水受けトレイをキャビネット内に設置する。

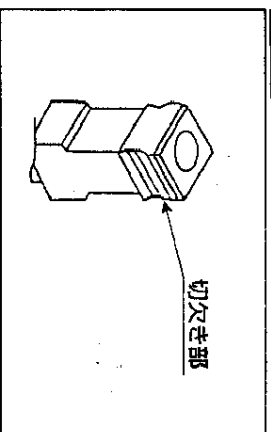
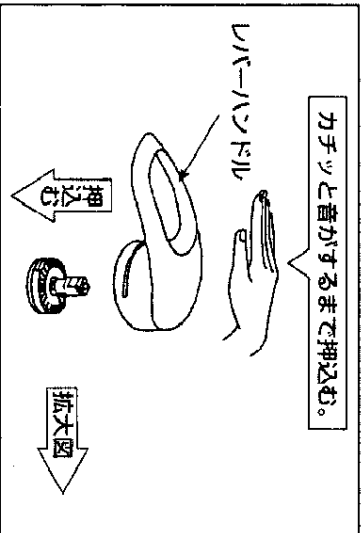


給湯、給水ホースとシャワーホースがからまないように注意ください。  
また、シャワーホースが出入れできることを確認ください。

## 7 リバーハンドルの取付要領

このリバーハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。

ご注意



リバーハンドルとリバーの切欠きとの方向性に注意してください。  
正面から見てリバーの切欠きは、両サイドにあります。万一方向をまちがえて取付けたときは、ハンドルを一度引抜いてから方向を合わせて再度押し込んでください。  
最後に、リバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

## 8 寒冷地用の水抜き方法

凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜きを行っておいってください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

### 注意

凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。

凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

水抜コックは、水抜き以外の目的では開けないでください。

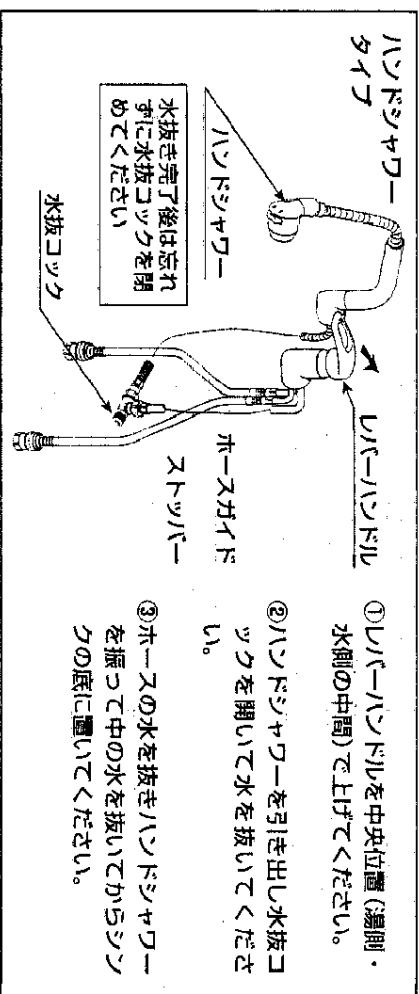
水抜コックをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、温水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

禁止

解氷機をご使用の場合、水栓には絶対通電しないでください。  
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## スパウトタイプ

- ①リバーハンドルを中央位置で上げてください。
- ②混合ホースの水抜コック（キャビネット内）を開いて水を抜いてください。



- ①リバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で上げてください。
- ②ハンドシャワーを引き出し水抜コックを開いて水を抜いてください。
- ③ホースの水を抜きハンドシャワーを振って中の水を抜いてからシンクの底に置いてください。

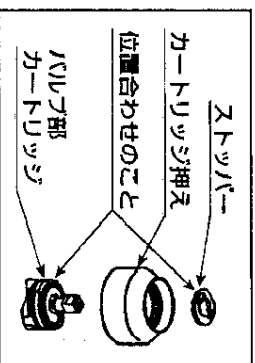
## 9.1 分解時の注意事項

### 注意

バルブ部カートリッジ内部は、精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

分解禁止

点検時の注意

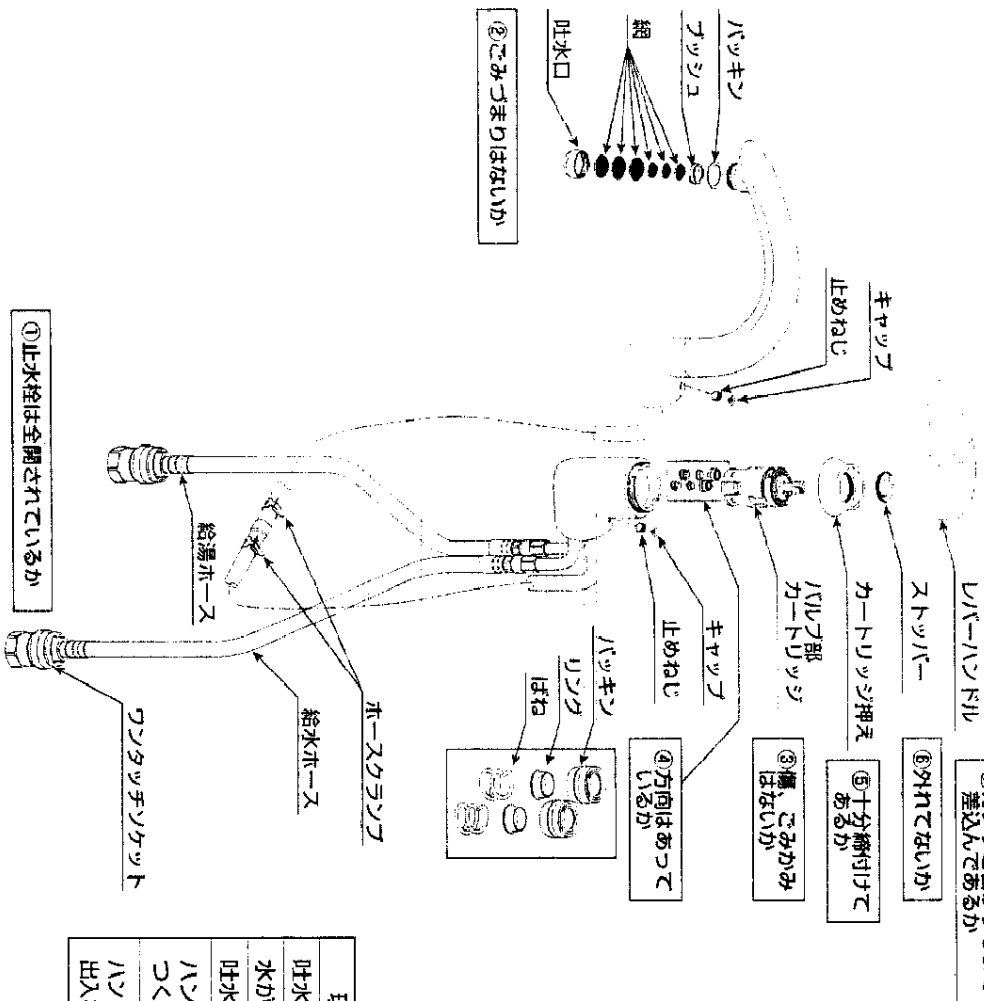


カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。再セットされる際に、ストッパーを組み込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。その際カートリッジ押えの内側の蓋とストッパーの外側の蓋が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向に少し回して、蓋を合わせるように調整してください。

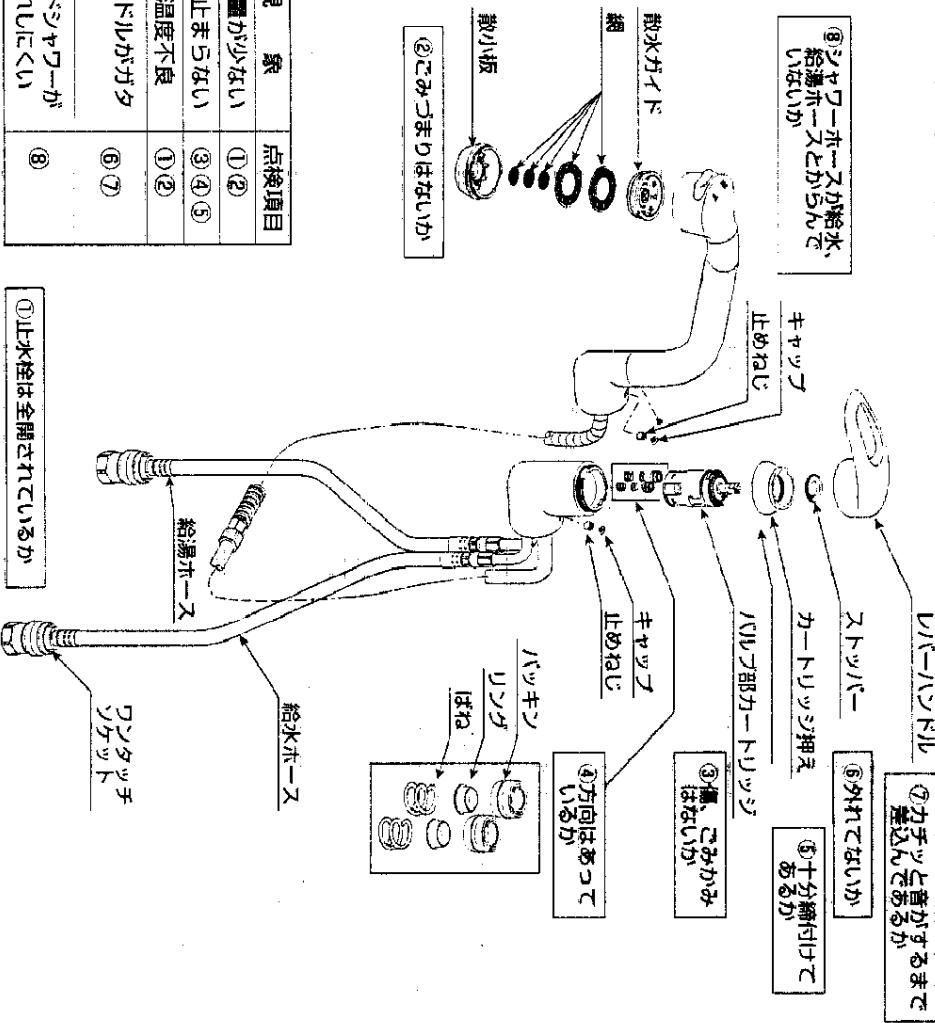
# 分解と点検

取付後、および万一故障した場合等は、次の要領で分解および点検を行なってください。

## スバウトタイプ



## ハンドシャワータイプ



現象	点検項目
吐水量が少くない	①②
水が止まらない	③④⑤
吐水温度不良	①②
ハンドルがガタつく	⑥⑦
ハンドシャワーが入りにくい	⑧

### ご注意

点検の際は、必ず止水栓を閉めてください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。

再生紙を使用しています。